

～新型コロナウイルス感染症を乗り越えるために～ NO！ワクチン差別 NO！コロナ差別

☎人権・同和教育課 ☎72-2111

新型コロナウイルス感染症の収束がまだ見通せない中、社会全体に経験したことのないような閉塞感が広がり、多くの人が不安な気持ちやストレスを抱えながら生活しています。

今年度になり、新型コロナウイルスワクチンの接種も進んできました。一方で、接種していない人への差別やいじめ、職場や学校における不利益な扱いの発生も懸念されています。



ワクチン接種は強制ではありません

日本では、ワクチンの接種は強制ではなく、本人の意思に基づき受けるものです。体質や持病等の身体的な理由を含め、さまざまな理由でワクチンを接種できない人もいます。

ワクチンを接種していないことを理由に、不当な扱いを受けることがあってはなりません。



一人ひとりができることを

不安と隣り合わせの日常を送っている人も多いと思いますが、多くの医療従事者が医療の現場でコロナウイルスと闘い続けており、また、治療薬の開発など事態の改善に向けた取組も世界中で行われています。

私たち一人ひとりができることは、不確かな情報をうのみにせず、冷静に客観的に見つけ、行動することです。食べること・睡眠をとること、もし不安な時や心配な時は、人と話すことなど、日常の生活を大切にしましょう。新型コロナウイルス感染症をみんなで乗り越えるために、誰かを責めたり排除したりするのではなく、それぞれの立場でできることを行っていきましょう。



人権イメージキャラクター
人KENまもる君・人KENあゆみちゃん

差別やいじめの相談窓口(いずれも平日に開設)

- 小郡市人権教育啓発センター
☎80-1080(午前8時30分～午後5時)
- みんなの人権110番
☎0570-003-110(午前8時30分～午後5時15分)
- 子どもの人権110番
☎0120-007-110(午前8時30分～午後5時)
- 外国人のための人権相談
☎0570-090-911(午前9時～午後5時)